

新しい「野洲市民病院」の

総合体育館東側市有地での整備に向けて、
**設計・施工費の債務負担行為予算が
可決・成立しました！！**

令和 5 年 3 月 24 日

< 発行者 >

野洲市民病院事業

< お問い合わせ先 >

野洲病院 新病院整備課

小篠原 1094 番地

077-587-5528

新しい「野洲市民病院」を、総合体育館東側の市有地に建設するための設計・施工費の予算が、本日3月24日の市議会本会議で、賛成多数(賛 11 反 6)により可決・成立しました。

これを受けて、今年11月には設計・施工を一括でゼネコン事業者(総合建設業者)に発注し、令和 8(2026)年度中に、新病院が竣工・開院するよう進めます。

◆◆ 整備工事費の予算額は約92億円

世界的な資材の高騰などを考慮した予算額です ◆◆

病院棟の建物や設備、外構などの本体工事の予算額は 92 億 3700 万円です(下表)。ロシアのウクライナ侵攻や全体的な円安傾向、人件費の上昇などにより建築物価が急激に上昇しているなかで(下グラフ)、入札を成立させるために必要と見込んだ金額を計上しました。

なお、新たな見込額を基準に、新病院の財政収支を計算したところ、急性期病棟や回復期病棟の診療単価が好調に推移していることや、急性期病床を 50 床から 60 床に増やす方向であることが奏功し、経常収支もキャッシュフローも従前と変わらず健全に維持できると試算されました。

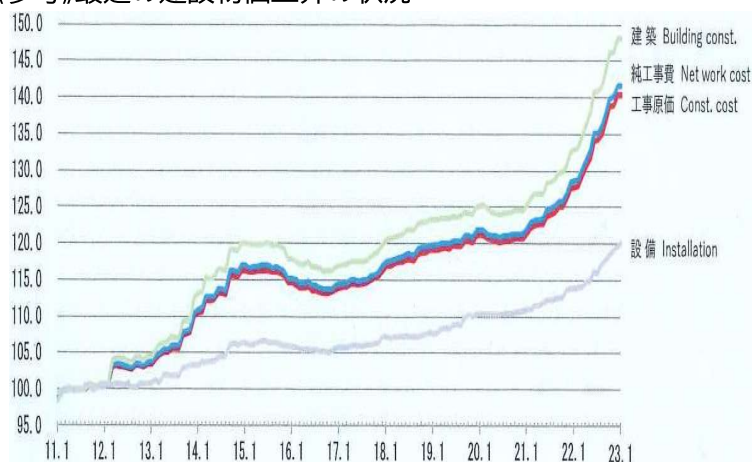
○ 新病院整備工事費等の予算額

費用項目	予算額
1 整備工事費	92 億 3700 万円
2 工事監理費	9300 万円
3 基本設計費	1 億 200 万円
4 実施設計費	2 億 3800 万円
5 整備支援業務委託費	8200 万円
合計	97 億 5200 万円

* 上の各費用は、令和 5 年度～8 年度までの 4 カ年度に分けて支出され、整備工事費等は約 30 年間の割賦により、市と病院事業が折半して負担していく計画です。

* 実際の事業費は入札により減額される見込みです。

《参考》最近の建設物価上昇の状況



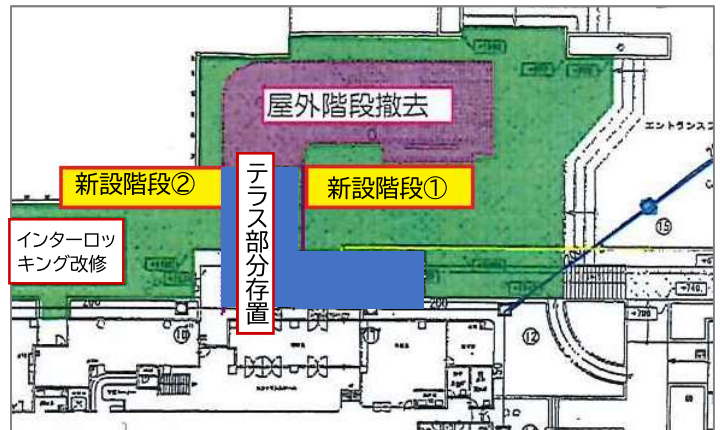
* 上記の出典は「建設物価 建築費指数®【2023 年 1 月分】」(建設物価調査会総合研究所)です。

* 2011.1(平成 23 年 1 月)を 100.0 とした集合住宅(RC 造)の価格指数です。

< 裏面に続きます >

◆◆ 総合体育館の外階段の撤去などに 8 月頃着工します
 測量・調査などの準備事業も進行中です ◆◆

本体施設の設計期間等を利用して、総合体育館の外階段の撤去や污水排水管の移設などの準備工事を、8月頃から行います（予算額：6,284万円・可決）。また、病院建物の設計を速やかに開始するための土壌・地質の詳細な調査や敷地の測量を間もなく始めます。（右図は準備工事の計画の一部です。階段撤去・新設関係）



◆◆ 6 月入札公告、11 月設計・施工を一括契約
 現在、新病院の施設や設備の仕様を検討中 ◆◆

予算が可決されたことから、予定どおり設計・施工の一括で、6月に入札募集を公告し、10月に事業者の選定を行う予定です。公平性と透明性を確保するため入札とした上で、事業者の提案力や技術力も適切に評価できるよう、外部の専門家を中心とした選定委員会の評価点数を加算して決定する「総合評価一般競争入札方式」を採用することとしました。

院内では現在、事業管理者や関係部門の医師、メディカルスタッフや事務スタッフが共同で、新病院の施設や設備の仕様の検討を精力的に行っています。



院内検討の様相(R5年2月)

◆◆ 野洲駅南口の旧病院整備用地は
 病院事業から市の駅前まちづくり事業へ移管します ◆◆

過去に新病院を整備する用地とされていた野洲駅南口の約 9,000 m²の土地は、約 11 億円の負債を抱えながら、これまで病院事業が所有してきました。今回の整備事業費予算の可決とともに、駅前まちづくりのための用地として活用していく予算も成立したことから、全部を市の駅前まちづくり事業に移管し、病院の負債も解消できることとなりました。

○ 駅前南口 旧病院整備用地 移管の流れ

